

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	マット型空気ジャッキを活用し車両揚程中における事故
3. 体験した事例の中心的要素	勾配10%の一般道路で、コンクリートミキサー車(6トン)の運転手が作業中、右後輪に下肢が挟まれた。消防隊員が、コンクリートミキサー車のリアデフアレンシャルギヤケースにマット型空気ジャッキ(24トン、12トン)を設定し持ち上げたところ、上部マットが前方に外れ車両が落下し、要救助者の負傷に影響を与えた。
4. 体験した事例の原因・理由	使用資機材の使用にあたっての限界を含む、安全管理体制の認識不足

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意思決定に問題があった
------------------	----------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成25年5月1日 午後13時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：勾配約10%の一般道路
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重症の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	救助
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	現場活動初期
9. 同様の体験は、これまでにどの頻度で体験していますか	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性(回答者は当事者A)



○当事者A	年齢[56]歳、勤続年数[38]年、現場経験年数[38]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[50]歳、勤続年数[32]年、現場経験年数[32]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[22]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4]年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	救助方法を決定した。	マット(中・小)
経過2	A	右前輪に車輪止めをした。	
経過3	C	左前後輪に車輪止めをした。	
経過4	B	右後輪にステップチョークを当て木として 使用し保持した。	
経過5	A	マットの設定をした。	デフとマットの中心を 合わせた。
経過6	C	設置部分を目視で確認し、送気した。	
経過7	B	ステップチョークが押し込まれるのを感じた。	
経過8	A	要救助者救出に至るまでの揚程高が 得られず送気中止させた。	
経過9	C	送気中断した。	
経過10	C	上部マットが前方に外れるのを現認した。	
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで淀んだのはどうしてだと思うか？

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境や、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

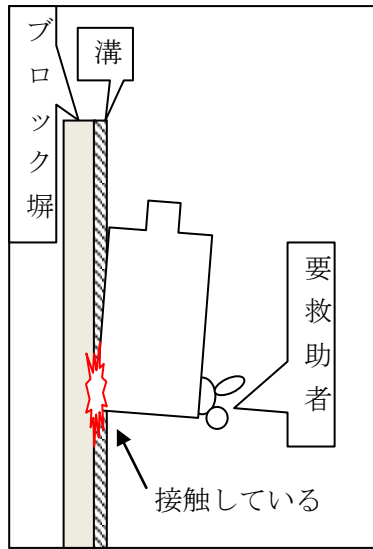
○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

現場詳細図



救助詳細図

